

# 製

五年 14  
画数 筆順  
オン セイ  
制 制 制 製

成り立ち



「切ってほどよく調える」と言う意味の「制(5753)」と、「衣服」の「衣」とを組み合わせて作った字です。

「布を切って調べて、衣服をつくる(製造する)」ことを表した字です。

今では、衣服に限らず、「物を作る」事の意味に使われています。

使い方

▽同じ物を作るのでも、道具の場合には製作と言いますが、独創的な芸術品の場合は「制作」と言います。だから、コンピューターは製作ですが、映画や絵画は「制作する」と書きます。

熟語例

- ▽製作(製も作も「つくる」こと。品物を作ること。)
- ▽製造(製も造も「つくる」こと。品物を作ること。)
- ▽特製(特別に作ったもの。また、特に念入りに作ったもの。)
- ▽製品(作られた品物)
- ▽製紙(紙を作ること。)
- ▽製糸(糸を作ること。)
- ▽製法(製造する方法)
- ▽調整(調え作る)という意味のことばですが、注文に「応じて物を作る」に使います。
- ▽和製(和は日本のこと。日本製。例このパナマ帽は、パナマで買ったものですが、よく見たら和製でした。)

# 税

五年 12  
画数 筆順  
オン セイ  
和 和 税

成り立ち



「着物を『脱ぐ』という意味を表した『兑』と、稲の意味を表した『禾』とを組み合わせて作った字です。

「取り入れた稲の一部を脱ぎ出し、役所に納めるために別にした稲」を表した字です。

昔は、取れた稲の一部を公共用の費用に当てるため役所に納めました。これを「税」と言いました。今ではお金で納めますので、「税金」と言います。今では、農家に限らず、所得に応じたお金を「税金」として納めます。それで、これを「所得税」と言い、いろいろな種類の「税」があります。

使い方

▽税のことを「租」とも言います。「且」は物をつみ重ねた形で、納められた稲が役所につき重ねられたので、「租」と言ったのです。今でも、「租税」ということばが使われています。

熟語例

- ▽税金(税として納めるお金。税には、所得税、住民税、関税、財産税など、いろいろの種類があります。)
- ▽納税(税金を納めること。)
- ▽課税(税金を課す〔わりあてる〕こと。)
- ▽徴税(税金を徴集〔とりたて〕すること。)
- ▽脱税(脱は「のがれる」こと。納めなければならない税金をごまかして納めないこと。)
- ▽関税(昔、関所を通る人に課した税。今は、外国から輸入する品物に課す税を言います。)
- ▽税関(関税を取りあつかう役所。空港や開港場にあつて輸出入品をとりしめし、徴税をします。)
- ▽所得税(所得の金額に応じて課税される税で、国税の一つ)
- ▽住民税(都道府県区市町村が住民に課税する税)